



花と緑のまちづくり

我孫子市景観情報リーフレット 第2号

表紙 けやき通りの坂

平成11年第3回我孫子市景観奨励賞を受賞したけやき並木の美しい坂で、市民の応募をもとに選定した我孫子の「坂道八景」のひとつにもなっています。湖北台団地が造成された昭和40年代に植えられたけやきが成長し、中には幹周りが3mになったものもあります。写真のとおり、成長した枝葉によってけやきのトンネルが形づくられ、車窓からはもちろんのこと、歩道からの眺めも見事です。

このけやき通りは、坂上の〈四季の道〉と坂下のく手賀沼ふれあいライン〉を結んでいます。四季折々の美しさがありますが、特に春の芽吹きと秋の紅葉が見ものです。ゆったりとした坂で歩道があるので、安心して散歩ができます。

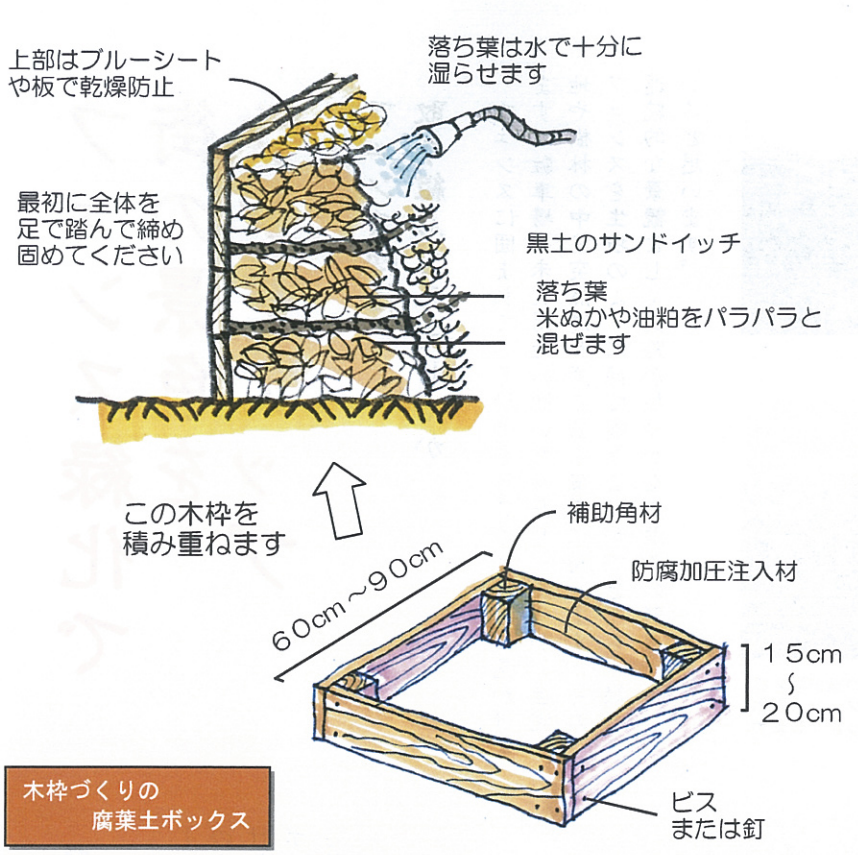
こうした市内有数の並木道に紅葉の時期に足を運んでみてはいかがでしょうか。

まちなみ探訪② 千葉県流山市

オープンガーデンのある街並み

今年の5月に毎年恒例の流山市オープンガーデンが開かれました。今年で10回目を迎えるそうです。オープンガーデンとは、個人の丹精込めたお庭を開放して楽しむ催しで、イギリスではかなり一般的で、立派なガイドブックもあるほどです。流山市では今年は28軒のお宅が参加し、その数軒を見せていただきました。

5月中旬なので、宿根マーガレット、各種バラやクレマチスなどなど、所狭しと創意工夫がこらしてあり、大勢の方が楽しんでいました。オーナーの方が園芸の楽しみ、ノウハウを披露したり、お茶のサービスなどあってすばらしい行事です。場所は一軒一軒少し離れていますので、ウォーキングをしながらオープンガーデンの多い江戸川台町の街並みを観賞。生垣や、手入れの行き届いたストリートガーデンも多く、オープンガーデンのお宅が影響しているのではないかと思います。ながら、「花で彩られた街並み」を感じました。



エコ生活を始めよう

第2回 落葉で腐葉土づくり

11月になると落葉の季節に入ります。この落葉は昔から腐葉土として土壌改良の重要な役目を果たしてきました。図のように、簡単な木枠ボックスを作って腐葉土を作ってみましょう。

ポイントは、落葉を十分に水で湿らせて発酵を促すことです。発酵には油粕や米ぬかと土をサンドイッチ状にして発酵させます。1週間以上たつと徐々に発酵して温度が上がってきます。1~2か月ぐらいたら、切り替えて空気(酸素)と水分を与えて再び発酵させます。落葉が黒くなり手でもんでポロポロになったら出来上がりです。上手に作れるようになったら、家庭の生ごみの堆肥づくりにも挑戦してみましょう。余り水分が多いと発酵より腐敗してしまいますので注意してください。落葉は元の量より半分以下になります。家庭菜園や花壇にすきこんだり、庭木の根元に覆うマルチングに利用すると良いでしょう。上手にできた堆肥は土壌のサプリメントのようなものです。

腐葉土づくりは「ゴミの減量化」「土からできたものは土に返す」エコ活動に参加しているのです。

INFORMATION



年 2回、市内外から多くの方が楽しみに訪れる日立総合経営研修所の庭園公開ですが、今年度は研修所本館の建て替え工事のため休止します。

このイベントは、日立総合経営研修所が、市民の要望に応じて、平成14年から始まりました。春は新緑、秋は紅葉が素晴らしく、公開時にはコカリナの演奏や、手賀沼の眺望を楽しむことができます。

【問合せ】
我孫子の景観を育てる会
090-6034-9149

我 孫子のいろいろ八景其の三の募集が8月31日で終了し、現在選考作業中です。

今回は、「桜の花のある風景」と「水のある風景」について募集を行い、合計277人から1076件の応募をいただきました。皆様、ご協力ありがとうございました。

来年2月28日に、けやきプラザにて、発表会兼コンサートを予定していますので、ぜひご参加ください。

【問合せ】
都市計画課景観推進室 内線574

あ びバスルート周辺の景観スポットを紹介するあびバス景観散策マップ「栄・並木・泉ルート編」を11月下旬に発行する予定です。

アビシルベ、アビスタ、湖北地区公民館、あびこ市民プラザ、市内の各近隣センター、行政サービスセンター、図書館でご自由にお持ち帰りいただけます。

すでに発行している「船戸・台田ルート編」も合わせてお楽しみください。

【問合せ】
都市計画課景観推進室 内線574

このリーフレットは、身近なまちなみから我孫子の景観の向上を図っていくことを目的に、市内における景観に関する取組みやトピックスの紹介とともに、景観アドバイザーの監修のもと、ご自宅のガーデニングに取り入れていただける手法を紹介する内容となっています。

発行 我孫子市都市計画課景観推進室
〒270-1143 我孫子市我孫子1858
TEL 04-7185-1111

発行日 平成26年10月31日

協力 我孫子市景観アドバイザー 関 基治

創り出そう

みどりの多いまちなみ景観

開放的な雰囲気づくりの

ストリートガーデン

■柴崎台 大原邸



T字路の交差部分にある大原邸。塀は一切なく、開放されたお庭になっている。

柴崎台にある大原さんのお庭は、平成15年に景観住宅賞を受賞しており、公開性の高いオープンなお庭になっています。四季折々の草花と樹木が植えられており、配置されている石やオブジェにおいても、庭園の緑豊かな雰囲気をさらに引き立てています。

最近困っていることは、植栽して約15年の白樺の木に、コガネムシが集まることだそうです。消毒しないのが大原さんに尋ねると、「この庭には、ニホントカゲなどの生き物がたくさんいるから消毒はしたくない」とのことでした。大原さんのお庭に対する考え方や愛情が伺えるお話でした。

開放的なお庭は、周辺住民の方々や道行く人を楽しませていると同時に、小動物のオアシスとして豊かな環境が維持されている素敵なストリートガーデンでした。



お庭には傾斜があり、起伏のある立体感のある景観をつくっている。



「ハクウンボク」や「ハンカチの木」など、珍しい樹木を見ることができる。

■布佐平和台 本山邸



沿道には、手作りの額縁をモチーフにしたプランターや木材を活用したプランターが並んでいる。

布佐平和台にある本山さんのお宅は、沿道にある額縁をモチーフにしたプランターが目立ちます。これは、機械の設計の仕事をしているご主人の手作りで、インタリネットで見つけた額縁風のプランターを見て、自ら図面を書いて作成したそうです。これまでに4つ作成しており、額縁の中のプランターを取り出しやすいように改良したり、季節に合わせて色を変えたりして、創意工夫を重ねているそうです。

お庭の樹木には、野鳥の餌台が6つ設置されています。メジロやマガラなど、季節によっていろいろな鳥が訪れるそうで、それを楽しみにされています。

趣味やものづくりを楽しむご主人の手柄が表れたアイデアガーデンです。季節が巡れば、鳥のさえずりが沿道空間をさらに豊かに演出してくれることでしょう。



たくさんの手づくり巣箱



庭内の樹木は最初に植えたもの以外は譲りうけたものがほとんどとのこと。地面には芝を貼っており、趣味のゴルフやターゲットボードゴルフの練習を楽しまれている。

フェンス緑化で街の景色をランクアップ

フェンス緑化に取り組んでみませんか

フェンスに囲まれている場所をどこどこに見かけます。駐車場や未利用地の囲いだったりしますが、住宅地や樹林の中で突然違和感のある風景に感じます。そのフェンスを生垣のように緑で覆うことができたら、緑の連続的な景観として街路が穏やかな街並みの形成につながると思います。



フェンス緑化を行うと、沿道の緑が増えるだけでなく、車を目隠しし、フェンス自体も目立たなくなり、沿道がすっきりします。

フェンス緑化にふさわしい植物

フェンスに這わせる植物はある程度病虫害に強く、手入れの簡単な植物が良いでしょう。ツル植物には多くの種類がありますが、丈夫で育ちやすい種類を選んで表にまとめました。(下段)

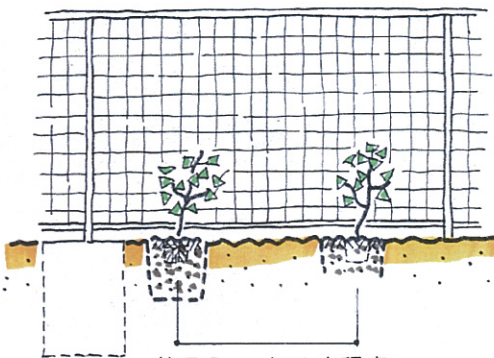
園芸作業に慣れた方は、若干手間のかかる花の美しい植物にも挑戦してみてください。

ものづくりで工夫を凝らした

アイデアガーデン

フェンス緑化の植え付けポイント

フェンスが設置してある場所は、多種多様な土壌で、しかも締め固められています。まず植え込む場所の周囲の土を十分耕し、状況によっては客土など、土壌改良を行わなければなりません。植え付けの間隔は50cmに1ポット程度で順調に育てば3年間である程度緑で覆われる状態になります。



約50cmに1本程度
直径φ30cm、深さ30cmの植穴で土壌改良をする

植えつけ後の管理

最初の一年間は水やりを中心にこまめに面倒を見てあげましょう。特に夏場の日照りが続いた場合には根が十分に張っていないので灌水を十分行う必要があります。

ツル植物は最初はフェンスに自然に絡まっていけないので、長く伸びだしたシュートを適度に植物用の結束針金で押さえてあげましょう。徐々に自然に絡み合ってくるので、フェンスいっぱいになるまで徐々に結束針金を外していき、年2回程度を目安に剪定します。素人でも簡単にできる作業です。年に一回緩効性の肥料も施してください。フェンスが、まるで生垣のように密生したグリーンウォールが変わってきます。

四季折々の変化とアートを街路で演出しています

庭づくりは4次元アートとも云われています。今回ご紹介のストリートガーデンは春夏秋冬の庭の美しさが、街を歩く人たちにも、ガーデンアートとしての変化の面白さを味わっていることではないでしょうか。大原さんのお宅はT字型街路の正面にあり、まさにアイストップのストリートガーデンです。四季折々の草花、樹木を時々入れ替えては工夫をした楽しさが感じられます。一般的には珍しいハクウンボクやハンカチノキもあり、ハンカチノキは白いハンカチ状の花ですが、これまで咲いたことがないそうで咲きだすのが待たれます。

本山さんのストリートガーデンは草花と手づくりの「飾り台」のマッチングが見事です。古い切り株を細工し、あるいは額縁からのぞかせる草花が道行く人たちにどんなにか楽しさを与えていることでしょうか。アイデアの「点」が近所で「線」に結ばれればその街の景観グレードがアップするのは確実です。布佐平和台のこの街の緑のラインは2段構成。街路沿いの低い細い緑地はストリートガーデンングエリア。その緑地の工夫が、街の楽しさ、変化の演出にちょうど面白い空間となっています。皆さまも道沿いのちよっとしたエリアに園芸アートづくりに挑戦してみませんか。



関 基治
我孫子市景観アドバイザー
グリーンワークス主宰
多くの緑化計画に携わる。

フェンス緑化にふさわしいツル植物5選

植物名(一般名)	日照条件	特徴など
ヘデラ ウコギ科	耐陰性あり	キヅタは日本原産の常緑のツタ。フユツタとも云われている。園芸店で一般的に販売しているのは西洋キヅタ。園芸品種が多い。葉の大きいヘデラ・カナリエンシスと葉が小ぶりで斑入りなど園芸種が多いヘデラ・ヘリックスなどがあります。
テイカカズラ キョウチクトウ科	耐陰性あり	葉が小さく、常緑で良く繁茂する。7月頃白い花が咲く。定着すると、明るい、小さい葉がびっしりと「品のある」生垣状のフェンスになっておすすめです。
モッコウバラ バラ科	東南向き	棘がなく小さな花が多く集まって咲くツルバラ。白花、黄花、八重、一重などの園芸品種がある。5月頃、花いっぴいのフェンス生垣になります。
ムベ アケビ科	半耐陰性	常緑。日本原産の常緑ツル植物。落葉の種類ではアケビがある。実はアケビと同じように食べられます。和風の落ち着いた雰囲気づくりに合うフェンス緑化です。
クレマチス キンポウゲ科	東南向き	和名はテッセン。やや栽培は難しいが多くの品種があり、花を觀賞するツル植物では秀逸。多くが落葉性。各種品種を植えて花のピンポイント名所づくりになるかも。



①キヅタ ②ヘデラ・ヘリックス ③テイカカズラ
④モッコウバラ ⑤ムベ ⑥クレマチス